



光明中学校だより

ひかり 明るい みんなの笑顔 心がステキ 光明中 ~人と人のつながりがたからもの~

第15号【令和8年2月2日】 生駒市立光明中学校 校長 齊藤 稔

校長センセ宇宙人説

「校長センセ宇宙人説」という歌をご存じでしょうか。NHK「みんなのうた」で放送された楽曲で、「校長先生は宇宙人なのではないか」と子どもたちに噂される、ユーモラスな設定の歌です。明るくポップなメロディと親しみやすい歌詞が印象的で、YouTubeの再生回数も54万回を超えるなど、広く親しまれているようです。歌の中で描かれる校長先生の行動や言葉は、子どもたちの目にはどこか奇妙で、とてもコミカルに映ります。しかし、その底にあるメッセージは、なぜか大人の心に深く突き刺さります。「人を愛しなさい」「人をゆるしなさい」「ばかげた夢こそ見続けなさい」「変わらない世界を変えなさい」、そして「戦争のない星をつくるのは、君たちの仕事だ」。校長先生は、そうした思いを伝える存在として描かれています。

私事で恐縮ですが、年末年始に、国外に住む友人たちが一時帰国する機会があり、現在イスのジュネーブに住む友人と約10年ぶりに再会することができました。昨今、日本の物価高は国民生活を圧迫する喫緊の課題ですが、日本と欧米諸国の物価を比べると、日本の物価は相対的に非常に安いという現実を、友との会話を通して改めて実感しました。ジュネーブでは、カフェラテが円換算で約2,000円、ハンバーガーが1,500円ほど、外食となれば1人1万円を超えることも珍しくないそうです。その友人は、ジュネーブにある国連欧洲本部で勤務しており、現在はシリア情勢に関わる業務を担当しているとのことです。具体的な取組について聞く中で、世界の平和と安定のために尽力する現場の重みを感じさせられました。

国連本部で働く友人が目指しているのは、言うまでもなく「世界平和」です。「校長センセ宇宙人説」の歌の中で、校長先生が口癖のように語る「戦争のない星をつくるのは、君たちの仕事だ」という言葉は、学校教育の目指す姿であり、また私の友人の理念とも通じるものだと感じています。

保護者の皆さん、先日は1、2年生の授業参観及び学年懇談会にお越しください、ありがとうございました。本校が日々大切にしている教育の営みが、決して教室の中だけにとどまるものではなく、子どもたちがこれから生きていく社会や世界そのものにつながっていくよう、教職員一同、決意を新たにしています。思いやりをもって人と関わること、違いを認め合い、対話を通して問題を解決しようとすること、小さくとも自分にできる行動を積み重ねていくこと、こうした一つ一つの経験が、やがて「戦争のない星」をつくる力になると信じています。学校と家庭が手を取り合い、子どもたちの夢や志を大切に育んでいけるよう、今後ともご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。